



KOGANEI

X904377

静電電位センサ
(DTY-EPS01-EA/DTY-EPS01-ES)
サポートソフト

取扱説明書 (Ver. 1.0)

目次

1. サポートソフト概要

1-1 概要	2
1-2 使用環境条件	2

2. 使用前の準備

2-1 インストール	3
2-2 パソコンと静電電位センサの接続	4

3. サポートソフト起動操作

3-1 ソフト起動時の手順	5
3-2 ソフト起動時の流れ	6

4. 基本操作

4-1 操作画面の各部の名称と機能(共通項目)	8
-------------------------	---

5. アナログ出力タイプ基本操作

5-1 モニタブ操作画面と各部の名称と機能	9
5-2 センサ設定タブ操作画面と各部の名称・機能	10
5-3 出力設定タブ操作画面と各部の名称・機能	11
5-4 エラー履歴表示	11
5-5 操作手順	11

6. スイッチ出力タイプ、オフラインモード基本操作

6-1 モニタブ操作画面と各部の名称と機能	12
6-2 センサ設定タブ操作画面と各部の名称・機能	13
6-3 出力設定タブ操作画面と各部の名称・機能	14
6-4 エラー履歴表示	17
6-5 操作手順	18

7. 設定値保存/読み込み操作

8. ログ表示/ログ出力操作

9. バージョン情報表示操作

※静電電位センサの詳細につきましては、
静電電位センサ取扱説明書(X904366) をご参照ください。

1. サポートソフト概要

1-1 概要

本サポートソフトは静電電位センサ(DTY-EPS01シリーズ)と通信を行い、帯電電位の表示・センサの各種設定を行います。

- モニタ機能

帯電電位、I/O入出力、LED状態の取得を行い、表示します。(表示間隔100[ms])

- センサ設定

測定距離、ワークサイズ等、測定に必要な設定の送信・受信を行います。

- 出力設定

判定出力の判定モードと閾値の送信・受信を行います。※スイッチ出力タイプおよびオフラインモードのみ対応

1-2 使用環境条件

- 対象機器

DTY-EPS01-□-□-□

- 作動環境

・基本ソフトウェア

Windows XP(SP3), Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 10

・コンピュータシステム

☐コンピュータ本体：

[Windows XP]

1 GHz 以上の Pentium または同等のCPUを搭載したパーソナルコンピュータ

[Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 10]

Microsoft社が推奨するプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ

☐メモリ：

[Windows XP]

使用可能メモリ512MB以上

[Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 10]

Microsoft社が推奨するメモリ容量

☐ハードディスクの空容量：500MB以上

☐ディスプレイ：解像度900×600以上（1024×768以上推奨）

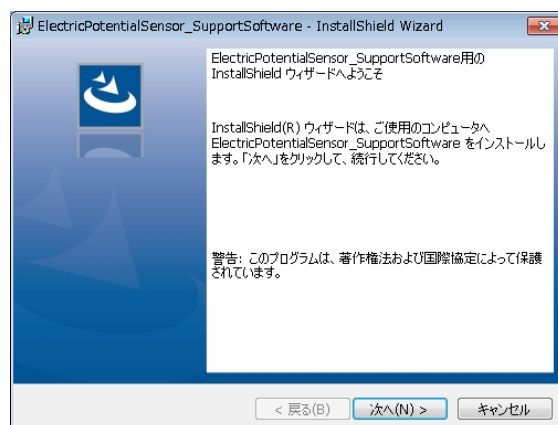
☐その他：「.NET Framework 4.0」がインストールされていること

2. 使用前の準備

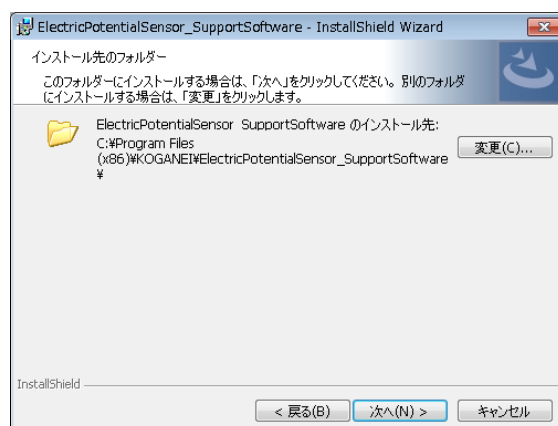
2-1 インストール

以下の手順でサポートソフトのインストールを行って下さい。

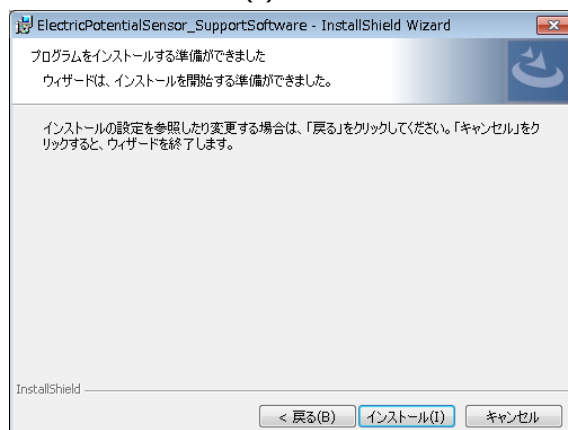
- 1) インストーラー実行後、以下の画面が表示されますので、「次へ(N)」をクリックして下さい。



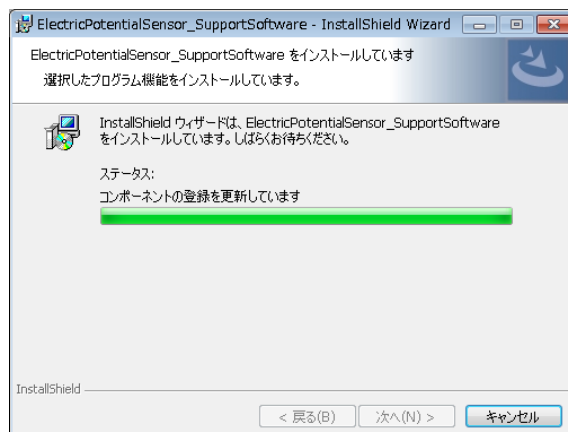
- 2) インストール先の設定画面が表示されます。インストール先を変更する場合は、「変更(C)」をクリックしてインストール先フォルダの変更を行って下さい。



- 3) 以下の画面が表示されますので、「インストール(I)」をクリックして下さい。



4)インストールの進行状況が表示されます。



5)インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。サポートソフトを起動したい場合は、「プログラムの起動」にチェックを入れて「完了」をクリックして下さい。

インストール完了後、「すべてのプログラム」（Windows8、Windows10では「すべてのアプリ」）内の「KOGANEI」フォルダ内、およびデスクトップにショートカットが作成されます。



2-2 パソコンと静電電位センサの接続

パソコンと静電電位センサをUSB-RS485変換器(IBM2A-H1-□)を用いて接続して下さい。

3. サポートソフト起動操作

3-1 ソフト起動時の手順

本サポートソフトは、起動時にCOMポートの取得を行います。

使用するCOMポートを選択して下さい。

■ オンラインモードの場合

- 1) COMポート選択後、自動的にセンサとの通信を開始します。
- 2) センサからの応答内容により、ソフトが機種タイプを選択し、タイプ別のモニタ画面を表示します。

■ オフラインモードの場合

- 1) ソフト起動後、スイッチ出力タイプのモニタ画面を表示します。（センサとの通信は行いません）

オンラインモード/オフラインモードの切り替えやCOMポートの再選択は、起動後にもメニューバーの「設定(S)」→「起動設定(B)」を選択することで行うことができます。

注意：オンラインモードでの起動時、センサとの通信がタイムアウト(3[s])すると以下の図の警告が表示されます。パソコンとセンサの接続やセンサの電源が入っていることを確認し、再度起動して下さい。

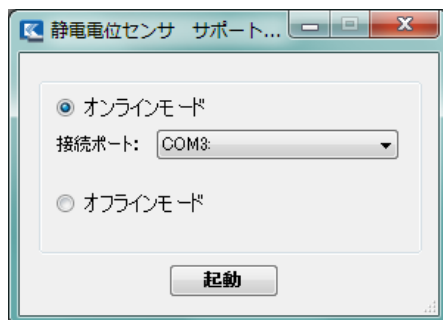


3-2 ソフト起動時の流れ

ソフトを立ち上げると、起動設定画面が表示されます。

静電電位センサと接続した状態でサポートソフトを起動する場合はオンラインモード、接続せず起動する場合はオフラインモードをチェックします。

■ソフト初期画面



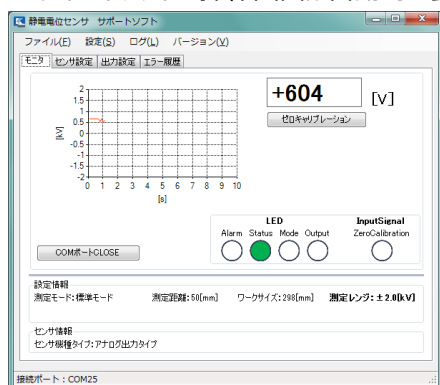
起動設定画面

オンラインモード/オフラインモード選択および接続ポート選択

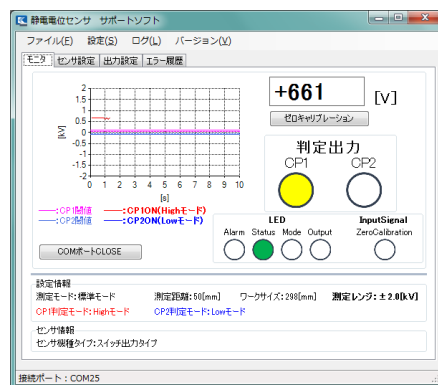
■オンラインモードの場合

オンラインモードにチェックを入れ、通信ポートを選択し、起動ボタンを押します。

センサとの通信が成功すると、センサタイプ(アナログ出力/スイッチ出力)に合ったサポートソフトの操作画面が自動的に表示されます。



アナログ出力タイプ操作画面



スイッチ出力タイプ操作画面

(注意) 静電電位センサ未接続の場合にオンラインモードで起動すると、通信タイムアウトエラーになりますので注意願います。

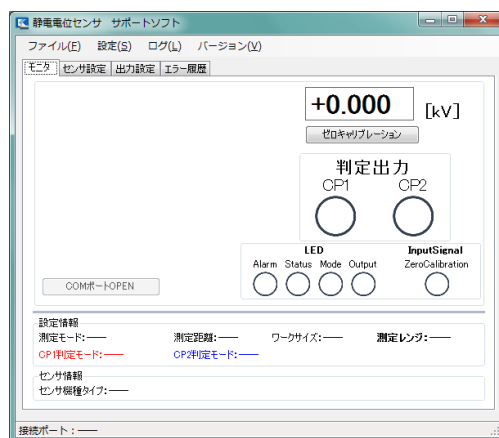
(注意) 他のアプリケーション等で使用中の COM ポートを選択するとエラーが発生しますので注意願います。

■ オフラインモードの場合

オフラインモードにチェックを入れ、起動ボタンを押します。

スイッチ出力タイプ用のモニタ画面および設定画面が表示されます。

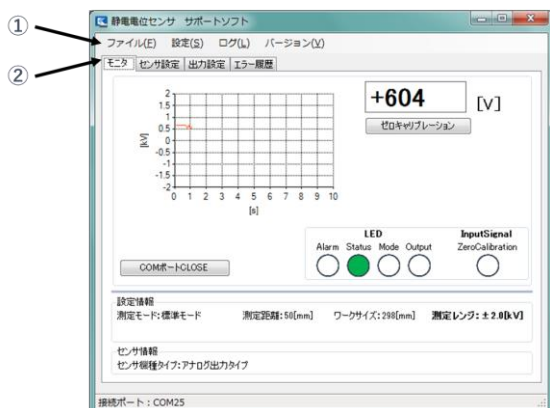
帯電電位モニタ用グラフおよび I/O 入出力、LED 状態は表示されません。



オフラインモード操作画面

4.基本操作

4-1 操作画面の各部の名称と機能(共通項目)



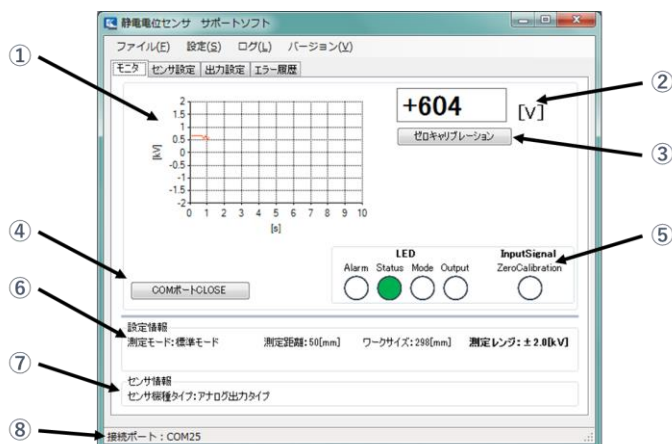
① メニューバー

② タブ項目

No.	名 称	意 味
①	メニューバー	<p>プルダウンメニュー第一階層メニューが表示されます。 機能別に4つのプルダウンメニューを、メニューバーに表示します。</p> <p>■ ファイル</p> <p>※詳細は本書7章をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定値保存：センサ設定と出力設定を外部ファイルに保存します。 ・設定値読み込み：保存された設定ファイルを読み込み、サポートソフトに反映します。 <p>■ 設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起動設定：起動時に表示される起動設定フォームを再度表示します。 オンラインモード/オフラインモードの切り替えおよびCOMポートの選択が行えます。 <p>■ ログ</p> <p>※詳細は本書8章をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ログ表示：センサとの通信を表示するログ表示フォームを開きます。 ・ログ出力：センサから受信した帯電電位情報を外部ファイルに出力します。 ログ出力停止を選択するかソフトを終了するまで継続的にログを出力します。 ・ログ出力停止：ログの出力を停止します。 <p>■ バージョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサ：センサからバージョン情報を受信し、表示します。 ・サポートソフト：サポートソフトのバージョン情報を表示します。
②	タブ項目	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタタブ、センサ設定タブ、出力設定タブ、エラー履歴の表示を切り替えます。

5. アナログ出力タイプ基本操作

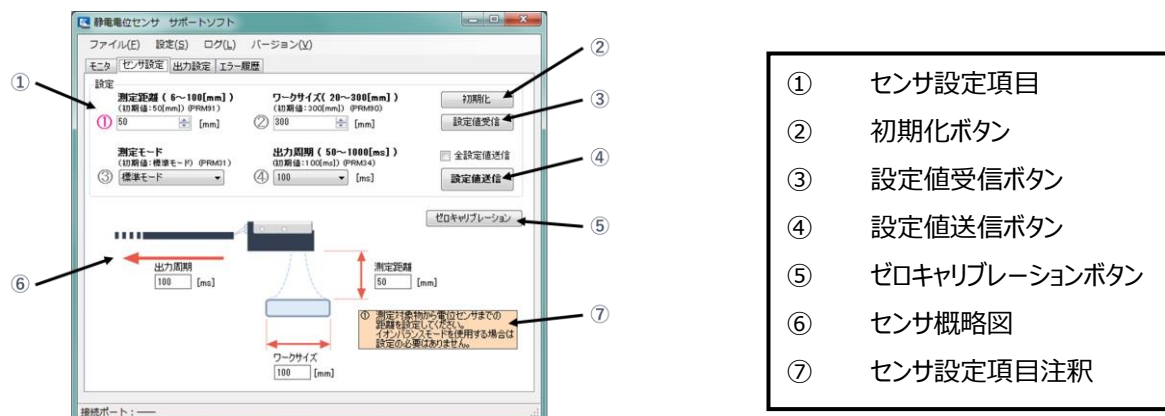
5-1 モニタタブ操作画面と各部の名称と機能



- | | |
|---|----------------|
| ① | 帯電電位表示用グラフ |
| ② | 帯電電位表示欄 |
| ③ | ゼロキャリブレーションボタン |
| ④ | COMポート接続ボタン |
| ⑤ | LED、I/O 表示欄 |
| ⑥ | 設定情報欄 |
| ⑦ | センサ情報欄 |
| ⑧ | ステータスバー |

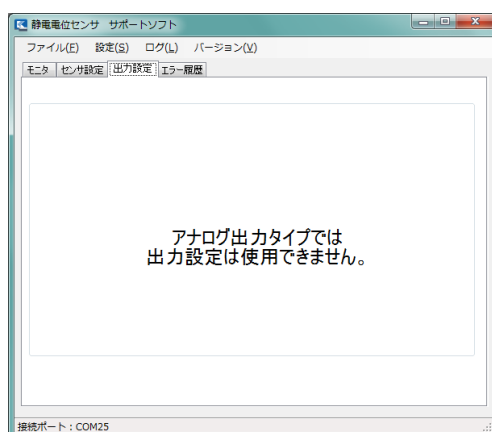
No.	名 称	意 味
①	帯電電位表示用グラフ	<ul style="list-style-type: none"> センサから 10[ms]周期で受信する帯電電位の推移をグラフ形式で表示します。10[s]分の帯電電位の推移が表示されます。 ※センサ設定の出力周期にかかわらず、グラフの更新周期は 100[ms]固定です。
②	帯電電位表示欄	<ul style="list-style-type: none"> 100[ms]周期で受信する帯電電位を表示します。 帯電電位は、標準モード/イオンバランスモード時[V]単位、高電圧モード時には[kV]単位で表示されます。
③	ゼロキャリブレーションボタン	<ul style="list-style-type: none"> センサにゼロキャリブレーションコマンドを送信します。 帯電電位が0Vとなります。
④	COMポート接続ボタン	<ul style="list-style-type: none"> COMポートに接続中、ボタンの表示が「COMポートCLOSE」になっている時にボタンを押すと、COMポートとの接続が切断されます。 COMポートと切断中、ボタンの表示が「COMポートOPEN」になっている時にボタンを押すと、再度COMポートに接続されます。 ※COMポート切断後に再度COMポート接続ボタンを押した場合、起動設定時に選択したCOMポートに再接続します。別のCOMポートに接続したい場合は、メニューバーの「設定(S)」から「起動設定(B)」を選び、接続したいポートを選択して下さい。 ※COMポート切断中に、接続していたCOMポートが他のアプリケーション等により使用された場合、その状態のまま再接続を行うとエラーが発生します。
⑤	LED、I/O 表示欄	<ul style="list-style-type: none"> センサ本体のLED状態、I/O状態を取得し、表示します。 (10[ms]周期)
⑥	設定情報欄	<ul style="list-style-type: none"> 現在接続しているセンサの測定モード、測定距離、測定レンジ、ワークサイズが表示されます。 ※センサとの接続中に別の設定のセンサに接続し直した場合、設定情報は自動で更新されません。センサ設定タブで設定値受信を行うか、起動設定を開いてサポートソフトを起動し直して下さい。
⑦	センサ情報欄	<ul style="list-style-type: none"> 接続しているセンサの機種タイプを表示します。 ※センサとの接続中に別の機種タイプのセンサに接続し直した場合、センサ機種タイプは自動で更新されません。起動設定を開き、サポートソフトを起動し直して下さい。
⑧	ステータスバー	<ul style="list-style-type: none"> 現在接続中のCOMポートが表示されます。

5-2 センサ設定タブ操作画面と各部の名称・機能



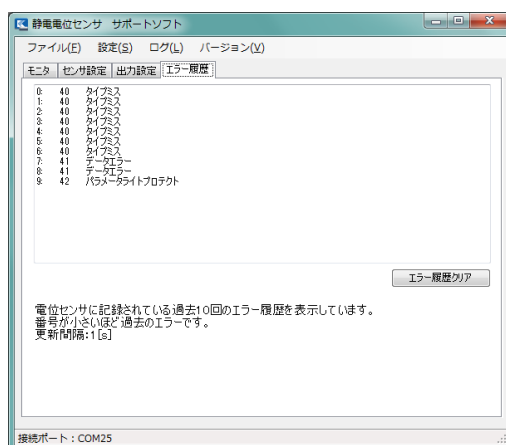
No.	名 称	意 味
①	センサ設定項目	<p>センサ設定の各項目です。</p> <p>現在の設定値から値を変更するとチェックマークが表示されます。</p> <p>※各項目の詳細については、静電電位センサの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>■ 測定距離</p> <p>測定対象物から電位センサまでの距離を 6[mm]～100[mm]の間で設定してください。</p> <p>イオンバランスモードで使用する場合は設定の必要はありません。</p> <p>■ ワークサイズ</p> <p>測定対象物の対角線での直径を 20[mm]～400[mm]の間で設定してください。</p> <p>■ 測定モード</p> <p>測定対象物の帯電量又は測定対象に合わせ測定モード(標準モード／高電圧モード/イオンバランスモード)を設定してください。</p> <p>■ 出力周期</p> <p>データ出力周期を 10ms(平均化なし)、50、100、200、500、1000[ms]から選択して下さい。</p> <p>イオンバランスモード選択時は、データ出力周期は 100[ms]に固定されます。</p>
②	初期化ボタン	<p>・センサ設定項目を初期値に戻します。</p> <p>初期化した設定値をセンサに送信することもできます。</p>
③	設定値受信ボタン	<p>・現在接続しているセンサから設定値を受信し、センサ設定項目欄に反映します。</p>
④	設定値送信ボタン	<p>・現在接続しているセンサにセンサ設定を送信します。</p> <p>デフォルトでは、変更を行った設定項目のみ送信します。</p> <p>「全設定値送信」にチェックを入れると、全ての設定項目を送信します。</p>
⑤	ゼロキャリブレーションボタン	<p>・センサにゼロキャリブレーションコマンドを送信します。</p> <p>帯電電位が0Vとなります。</p>
⑥	センサ概略図	<p>・各設定項目がどの値を指すか示した概略図です。</p> <p>センサ設定項目値を変更すると、概略図上の値も更新されます。</p>
⑦	センサ設定項目注釈	<p>・現在選択しているセンサ設定項目の概要について記した注釈です。</p>

5-3 出力設定タブ操作画面と各部の名称・機能



アナログ出力タイプには判定出力機能が付いていないため、出力設定は使用できません。

5-4 エラー履歴表示



「エラー履歴」タブに、電位センサに記録されている過去10回の通信エラー履歴が表示されます。

エラー履歴の更新周期は1[s]です。

本エラー履歴は、サポートソフトを起動する以前のエラーも表示します。

「エラー履歴クリア」ボタンを押すことでエラー履歴をクリアすることができます。

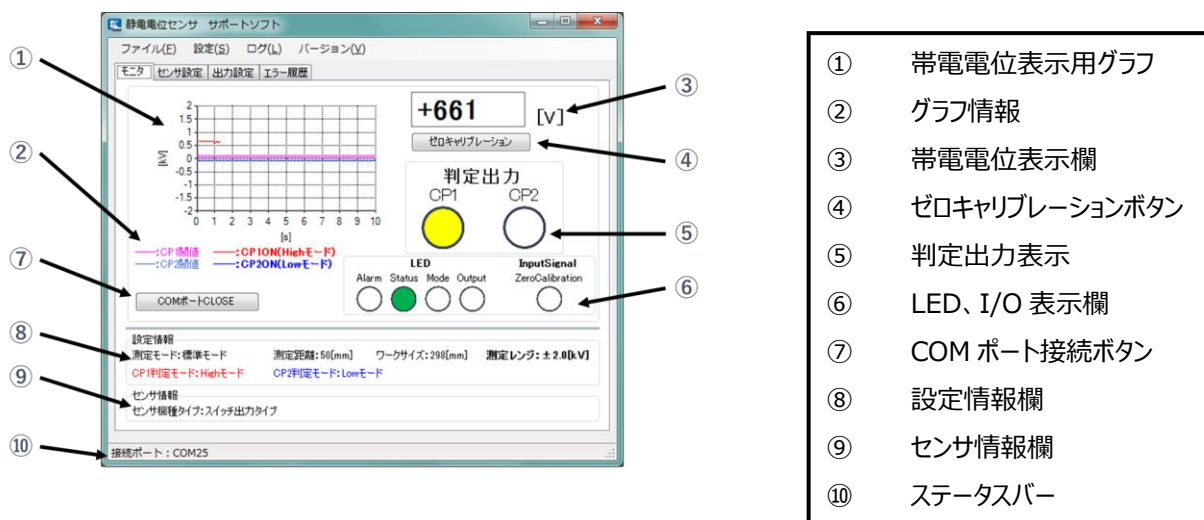
5-5 操作手順

操作手順について説明します。

- 1) サポートソフト起動後、センサへ設定が必要な場合は、「センサ設定」タブに移動し、測定距離等、必要な項目を設定します。
- 2) 測定前にゼロキャリブレーションが必要な場合は、「モニター」タブあるいは「センサ設定タブ」に移動しセンサをアースに接続された金属板、または帯電物が無い空間に向けて、ゼロキャリブレーションボタンをクリックします。表示されている帯電電位が0[V]であることを確認します。
- 3) 「モニター」の帯電電位表示および帯電電位表示用グラフにて、帯電量を確認することができます。
(帯電電位表示用グラフでは10[ms]ごとの帯電電位の推移を確認できます。)

6. スイッチ出力タイプ、オフラインモード基本操作

6-1 モニタブ操作画面と各部の名称と機能



No.	名 称	意 味
①	帯電電位表示用グラフ	・センサから 10[ms]周期で受信する帯電電位の推移をグラフ形式で表示します。 10[s]分の帯電電位の推移が表示されます。 ※オンラインモード時のみ表示されます。 ※センサ設定の出力周期にかかわらず、グラフの更新周期は 100[ms]固定です。
②	グラフ情報	・判定出力 CP1、CP2 が ON の時のグラフの線の色、および CP1、CP2 の判定モードの情報が表示されます。 ※オンラインモード時のみ表示されます。
③	帯電電位表示欄	・100[ms]周期で受信する帯電電位を表示します。
④	ゼロキャリブレーションボタン	・センサにゼロキャリブレーションコマンドを送信します。 帯電電位が0Vとなります。
⑤	判定出力表示	100[ms]周期でセンサの判定出力状態を取得し、表示します。 判定出力がONの時、表示が黄色になります。
⑥	LED、I/O 表示欄	・センサ本体のLED状態、I/O状態を取得し、表示します。 (100[ms]周期)
⑦	COM ポート接続ボタン	・COMポートに接続中、ボタンの表示が「COMポートCLOSE」になっている時にボタンを押すと、COMポートとの接続が切断されます。 COMポートと切断中、ボタンの表示が「COMポートOPEN」になっている時にボタンを押すと、再度COMポートに接続されます。 ※COMポート切断後に再度COMポート接続ボタンを押した場合、起動設定時に選択したCOMポートに再接続します。別のCOMポートに接続したい場合は、メニューバーの「設定(S)」から「起動設定(B)」を選び、接続したいポートを選択して下さい。 ※COMポート切断中に、接続していたCOMポートが他のアプリケーション等により使用された場合、その状態のまま再接続を行うとエラーが発生します。

⑧	設定情報欄	・現在接続しているセンサの測定モード、測定距離、測定レンジ、ワークサイズが表示されます。 ※センサとの接続中に別の設定のセンサに接続し直した場合、設定情報は自動で更新されません。センサ設定タブで設定値受信を行うか、起動設定を開いてサポートソフトを起動し直して下さい。
⑨	センサ情報欄	・接続しているセンサの機種タイプを表示します。 ※センサとの接続中に別の機種タイプのセンサに接続し直した場合、センサ機種タイプは自動で更新されません。起動設定を開き、サポートソフトを起動し直して下さい。
⑩	ステータスバー	・現在接続中のCOMポートが表示されます。

6-2 センサ設定タブ操作画面と各部の名称・機能

① センサ設定項目

② 初期化ボタン

③ 設定値受信ボタン

④ 設定値送信ボタン

⑤ ゼロキャリブレーションボタン

⑥ センサ概略図

⑦ センサ設定項目注釈

① センサ設定項目

② 初期化ボタン

③ 設定値受信ボタン

④ 設定値送信ボタン

⑤ ゼロキャリブレーションボタン

⑥ センサ概略図

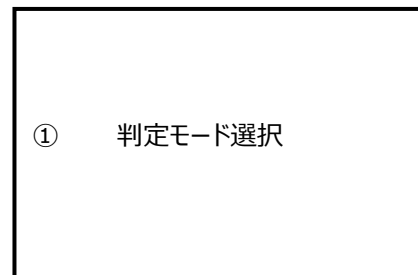
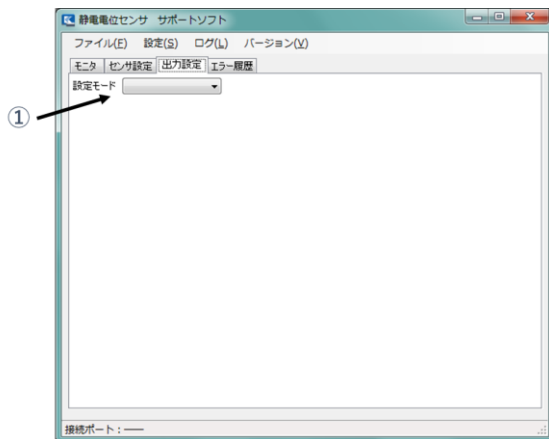
⑦ センサ設定項目注釈

No.	名 称	意 味
①	センサ設定項目	<p>センサ設定の各項目です。</p> <p>現在の設定値から値を変更するとチェックマークが表示されます。</p> <p>※各項目の詳細については、静電電位センサの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>■ 測定距離</p> <p>測定対象物から電位センサまでの距離を 6[mm]～100[mm]の間で設定してください。</p> <p>イオンバランスモードで使用する場合は設定の必要はありません。</p> <p>■ ワークサイズ</p> <p>測定対象物の対角線での直径を 20[mm]～400[mm]の間で設定してください。</p> <p>■ 測定モード</p> <p>測定対象物の帯電量又は測定対象に合わせ測定モード(標準モード／高電圧モード/イオンバランスモード)を設定してください。</p> <p>■ 出力周期</p> <p>データ出力周期を 10ms(平均化なし)、50、100、200、500、1000[ms]から選択して下さい。</p> <p>イオンバランスモード選択時は、データ出力周期は 100[ms]に固定されます。</p>
②	初期化ボタン	・センサ設定項目を初期値に戻します。
③	設定値受信ボタン	・現在接続しているセンサから設定値を受信し、センサ設定項目欄に反映します。
④	設定値送信ボタン	<p>・現在接続しているセンサにセンサ設定を送信します。</p> <p>デフォルトでは、変更を行った設定項目のみ送信します。</p> <p>「全設定値送信」にチェックを入れると、全ての設定項目を送信します。</p>

⑤	ゼロキャリブレーションボタン	・センサにゼロキャリブレーションコマンドを送信します。 帯電電位が0Vとなります。
⑥	センサ概略図	・各設定項目がどの値を指すか示した概略図です。 センサ設定項目値を変更すると、概略図上の値も更新されます。
⑦	センサ設定項目注釈	・現在選択しているセンサ設定項目の概要について記した注釈です。

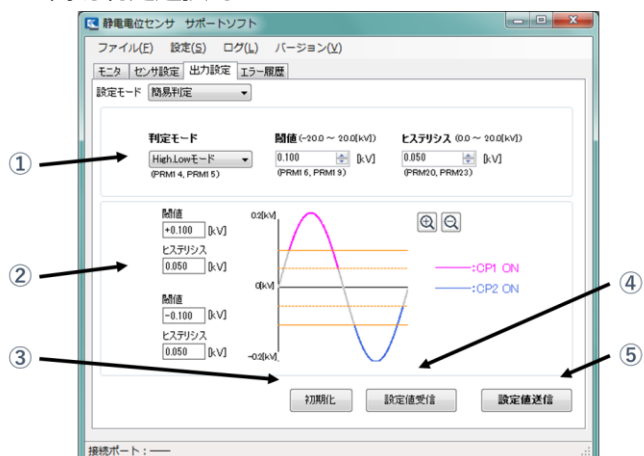
6-3 出力設定タブ操作画面と各部の名称・機能

出力設定タブに移行すると、判定モード選択画面が表示されます。



No.	名 称	意 味
①	判定モード 選択	・判定モードを、簡易判定と詳細判定から選択して下さい。 選択後、判定モードに応じた設定画面が表示されます。

■簡易判定選択時

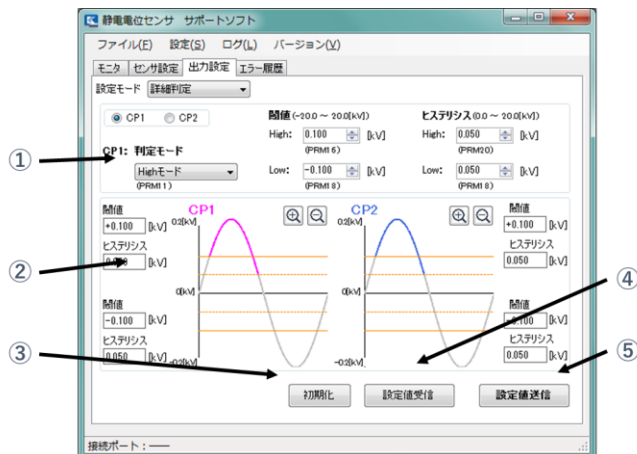


- ① 出力設定項目
- ② 設定値表示欄
- ③ 初期化ボタン
- ④ 設定値受信ボタン
- ⑤ 設定値送信ボタン

No.	名 称	意 味
①	出力設定項目	<p>出力設定の各項目です。</p> <p>※各項目の詳細については、静電電位センサの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>■判定モード</p> <p>判定出力の判定モードを以下から選択して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・High.Low モード 測定電位が閾値 High を超えた場合 CP1 が ON に、 閾値 Low を下回った場合 CP2 が ON になります。 ・Inside モード 測定電位が閾値 High と閾値 Low の内側にある間、CP1 が ON になります。 CP2 は OFF モードになり出力されません。 ・Outside モード 測定電位が閾値 High と閾値 Low の外側にある間、CP1 が ON になります。 CP2 は OFF モードになり出力されません。 <p>■閾値</p> <p>判定出力の出力に使用する閾値を-20.0[kV]から 20.0[kV]の間で設定します。 簡易判定では、閾値を 1 つ入力することにより閾値 High と閾値 Low がそれぞれ 0V を基準に プラス帯電側/マイナス帯電側に対称に設定されます。</p> <p>■ヒステリシス</p> <p>閾値に対するヒステリシスを 0.0[kV]から 20.0[kV]の間で設定します。 簡易判定では、ヒステリシスを 1 つ入力することにより閾値 High と閾値 Low の両方にヒステリ シスが設定されます。</p>
②	設定値表示欄	<p>・出力設定項目で設定した値が表示されます。</p> <p>設定確認用グラフでは、現在の設定値で判定出力が ON になる値が確認できます。 グラフ横の拡大・縮小ボタンにより、設定確認用グラフのレンジを変更することができます。</p>
③	初期化ボタン	<p>・出力設定項目を初期値に戻します。</p> <p>初期化した設定値をセンサに送信することもできます。（オンラインモードのみ）</p> <p>初期化ボタンを押すと、初期化対象の選択ダイアログが表示されます。</p> <p>簡易判定の設定のみを初期化したい場合は「簡易判定初期化」に、詳細判定の設定値も 同時に初期化したい場合は「全て初期化」にチェックを入れて下さい。</p>
④	設定値受信	<p>・現在接続しているセンサから設定値を受信し、出力設定項目欄に反映します。</p>

	ボタン	※オンラインモード時のみ機能します。
⑤	設定値送信 ボタン	・現在接続しているセンサに出力設定を送信します。 ※オンラインモード時のみ機能します。

■詳細判定選択時

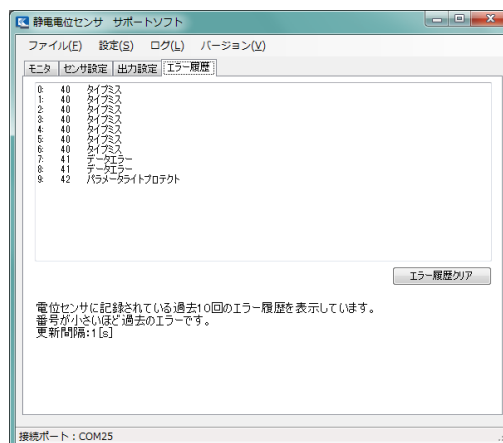


- ① 出力設定項目
- ② 設定値表示欄
- ③ 初期化ボタン
- ④ 設定値受信ボタン
- ⑤ 設定値送信ボタン

No.	名 称	意 味
①	出力設定項目	<p>出力設定の各項目です。</p> <p>CP1、CP2 のチェックを切り替えることで、各判定出力に対して設定が行えます。</p> <p>※各項目の詳細については、静電電位センサの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>■判定モード</p> <p>判定出力の判定モードを以下から選択して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・High モード 測定電位が閾値 High を超えた場合判定出力が ON になります。 ・Low モード 測定電位が閾値 Low を下回った場合判定出力が ON になります。 ・Inside モード 測定電位が閾値 High と閾値 Low の内側にある間、判定出力が ON になります。 ・Outside モード 測定電位が閾値 High と閾値 Low の外側にある間、判定出力が ON になります。 ・OFF モード 判定出力は出力されません。 <p>■閾値</p> <p>判定出力の出力に使用する閾値を-20.0[kV]から 20.0[kV]の間で設定します。</p> <p>閾値 High と閾値 Low の 2 点が設定できますが、閾値 High は必ず閾値 Low 以上の値でなければいけません。</p> <p>■ヒステリシス</p> <p>閾値に対するヒステリシスを 0.0[kV]から 20.0[kV]の間で設定します。</p>
②	設定値表示欄	<p>・出力設定項目で設定した値が表示されます。</p> <p>設定確認用グラフでは、現在の設定値で判定出力が ON になる値が確認できます。</p> <p>グラフ横の拡大・縮小ボタンにより、設定確認用グラフのレンジを変更することができます。</p>

③	初期化ボタン	<p>・出力設定項目を初期値に戻します。</p> <p>初期化した設定値をセンサに送信することもできます。（オンラインモードのみ）</p> <p>初期化ボタンを押すと、初期化対象の選択ダイアログが表示されます。</p> <p>詳細判定の設定のみを初期化したい場合は「詳細判定初期化」に、簡易判定の設定値も同時に初期化したい場合は「全て初期化」にチェックを入れて下さい。</p> <p>「詳細設定初期化」にチェックを入れた場合、更に初期化対象を絞ることができます。</p> <p>CP1 の設定のみを初期化したい場合は「CP1 初期化」に、CP2 の設定のみを初期化したい場合は「CP2 初期化」に、CP1 と CP2 の設定を同時に初期化したい場合は「全て初期化」にチェックを入れて下さい。</p>
④	設定値受信ボタン	<p>・現在接続しているセンサから設定値を受信し、出力設定項目欄に反映します。</p> <p>※オンラインモード時のみ機能します。</p>
⑤	設定値送信ボタン	<p>・現在接続しているセンサに出力設定を送信します。</p> <p>※オンラインモード時のみ機能します。</p>

6-4 エラー履歴表示



「エラー履歴」タブに、電位センサに記録されている過去10回の通信エラー履歴が表示されます。

エラー履歴の更新周期は1[s]です。

本エラー履歴は、サポートソフトを起動する以前のエラーも表示します。

「エラー履歴クリア」ボタンを押すことでエラー履歴をクリアすることができます。

※エラー履歴は、オンラインモードでのみ表示されます。

6-5 操作手順

操作手順について説明します。

■ スイッチ出力タイプ接続時

1) サポートソフト起動後、センサへ設定が必要な場合は、「センサ設定」タブに移動し、測定距離等、必要な項目を設定します。

2) 出力設定が必要な場合は「出力設定」タブに移動し、判定モード等、必要な項目を設定します。

3) 測定前にゼロキャリブレーションが必要な場合は、「モニタ」タブに移動しセンサをアースに接続された金属板、または帯電物が無い空間に向けて、ゼロキャリブレーションボタンをクリックします。

表示されている帯電電位が0[V]であることを確認します。

3) 「モニタタブ」の帯電電位表示および帯電帯電電位表示用グラフにて、帯電量および判定出力のON/OFFを確認することができます。

(帯電帯電電位表示用グラフでは10[ms]ごとの帯電電位の推移を確認できます。)

■ オフラインモード起動時

オフラインモードでは、各種設定の保存および保存した設定ファイルの読み込みが行えます。

表示画面はスイッチ出力タイプ接続時に準じます。

7. 設定値保存/読み込み操作

■ 設定値保存

メニューバーから「ファイル(F)」→「設定値保存」を選択すると、設定値の保存ウインドウが表示されます。

任意のファイル名を付けて「保存」を選択すると、CSV形式の設定ファイルが作成されます。

設定ファイルには、現在ソフトで設定しているセンサ設定、および出力設定（スイッチ出力タイプ接続時およびオフラインモード選択時のみ）の値が記録されます。

■ 設定値読み込み

メニューバーから「ファイル(F)」→「設定値読み込み」を選択すると、設定値の読み込みウインドウが表示されます。

設定値保存で保存した設定ファイルを開くと、センサ設定タブと出力設定タブに設定ファイルの内容が反映されます。

※注意：設定ファイルをエディタ等で直接編集すると、設定値が読み込めなくなる可能性があります。

破損した設定ファイルを読み込むと、エラーが発生します。

※注意：ユーザーや他のアプリケーションに使用されている設定ファイルを読み込むと、エラーが発生します。

設定ファイルを閉じる、設定ファイルを使用しているアプリケーションを終了させる等の対策を行ってから
設定ファイルの読み込みを行ってください。

※注意：設定ファイルの拡張子は必ず「.csv」で保存して下さい。

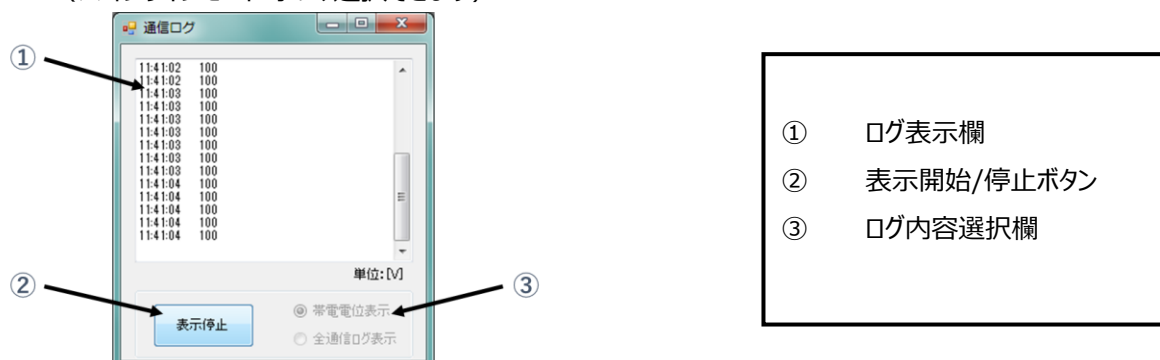
他の拡張子のファイルを読み込むと、エラーが発生します。

8. ログ表示/ログ出力操作

■ログ表示

メニューバーから「ログ(L)」→「ログ表示(D)」を選択すると、下記ウインドウが表示されます。

(※オンラインモード時のみ選択できます)



No.	名 称	意 味
①	ログ表示欄	・ログの表示を開始後、取得したログが表示されます。 制限表示行数は 100 行です。
②	表示開始/ 停止ボタン	・ログの表示開始/停止を切り替えます。
③	ログ内容 選択欄	・表示するログの内容を選択できます。 「帯電電位表示」にチェックを入れると、ログ取得時刻と帯電電位[V]の情報が表示されます。 「全通信ログ表示」にチェックを入れると、ログ取得時刻とセンサに送信したコマンド内容が 青文字で、センサからの応答が緑文字で表示されます。

■ログ出力

メニューバーから「ログ(L)」→「ログ出力(O)」を選択すると、ログの保存ウインドウが表示されます。

(※オンラインモード時のみ選択できます)

任意のファイル名を付けて「保存」を選択すると、CSV形式のログファイルが作成されます。

ログファイルには、100[ms]周期で取得した帯電電位の情報が継続的に出力されます。

メニューバーから「ログ(L)」→「ログ出力停止(B)」を選択するか、ソフトを終了するとログの出力が停止します。

9. バージョン情報表示操作

■ センサ

メニューバーから「バージョン(V)」→「センサ(E)」を選択すると、センサからバージョン情報を取得し、表示します。

(※オンラインモード時のみ機能します)

■ サポートソフト

メニューバーから「バージョン(V)」→「サポートソフト(S)」を選択すると、サポートソフトのバージョン情報を表示します。

内容についてのご不明な点や技術的なご質問がございましたら下記の技術サービスセンターへお問合せください。

《問合せ先》

株式会社コガネイ 技術サービスセンター

住 所：東京都小金井市緑町 3 - 1 1 - 2 8

T E L：0 4 2（3 8 3）7 1 7 2

F A X：0 4 2（3 8 3）7 2 0 6